

＜仕事と介護の両立事業取組結果＞

| | |
|--------|---|
| 企業名 | 株式会社ビサイド |
| 所在地 | 東京都中央区日本橋 3-2-14 日本橋 KN ビル 4F |
| 業種 | サービス業 |
| 事業内容 | シェアオフィス運営・貸し会議室運営 |
| ホームページ | http://www.wissquare.jp/ |

| | |
|-------------------------------|---|
| 1. 相談内容や従業員ニーズ調査の結果等により判明した課題 | <p>課題 1 : 将来の介護が発生した場合、不安がある</p> <p>課題 2 : 公的介護制度や地域包括センター等の知識がない人が多い</p> <p>課題 3 : 自社の介護制度の周知が出来ていない</p> <p>課題 4 : 地方出身者が多いことから、仕事と介護の両立が難しいと感じている社員が多い</p> |
| 2. 働き方の見直しに関する検討状況 | <p>(1) 検討方法 プロジェクトチームを立ち上げ、検討することとした。 【メンバー】 チームリーダー：介護相談員、メンバー：スタッフ 2 名</p> <p>(2) 検討経過</p> <p>①第 1 回検討会 検討内容：アンケート結果の現状分析を行いながら、取り組み内容の方向性を検討した。</p> <p>②第 2 回検討会 検討内容：具体的な取り組み内容を議論し、決定した。</p> |
| 3. 仕事と介護の両立に関する取組計画 | <p>【目標 1】 社内研修会の開催による公的介護制度等の知識や情報に関する講習会および自社の介護制度の周知および情報交換会の開催をする。 (計画期間等：平成 27 年度から毎年 1 回程度開催)</p> <p>【目標 2】 仕事と介護の両立のための支援制度（フレックス等の短時間勤務制度）の検討 (計画期間等：平成 28 年度・・・短時間勤務制度の導入検討)</p> |

【株式会社 ビサイド 調査結果報告書】

1. 調査概要

20歳代の社員は介護制度そのものに関する知識が不足しており、基礎的な知識の習得が必要と思われる。また、自社の介護制度に関して知らない人が多い。将来の介護に対して社員も多く、また、介護しながらでも働き続けられる環境を希望しており、会社として何らかの労働環境整備が必要と思われる。

2. 調査結果報告

- 介護の経験ある人が非常に少ない。しかし、2名は介護経験がある。
- 5年以内に介護する可能性がある人は半分。
- 介護をしながら仕事を続けられると回答した人が半分。職場で介護について相談できる環境があると回答している人が多く、職場での風通しの良さが伺える。
- 介護することになった場合、どのような働き方が望ましいか？に対して「短時間勤務制度」を利用しながら仕事を継続すること望む声が高かった。また、休業制度なども利用して仕事を継続することも小数意見があった。少子高齢化に向けて今から社内で働き方を変える制度整備が重要と感じた。
- 公的介護保険制度については、ほとんど介護に関する知識がない人が半数。また、「地域包括支援センター」についても理解度は低かった。会社として、公的介護に関する知識や包括支援センター等に関する知識啓蒙教育の必要性を感じる。
- 勤務先の介護に関する支援制度については、「制度の存在」「制度の内容」など知らない人が多数を占めた。自社の介護制度等のことについて社員が十分理解できていないことが判明したので、説明する必要性を感じた。
- 職場の残業や有給休暇の所得は、概ね希望通りに取得出来ており、社員の働きやすさを感じる。
- 長時間労働の削減や業務効率化のための取り組みとして、業務の簡素化や要員配置の見直しなど業務処理体制の改善が社内全体で行われている。
- コミュニケーションについても、上司、部下同僚とのコミュニケーションも概ね良好と言える。

3. 課題整理

課題1: 将来の介護が発生した場合、不安を感じている社員がいる

課題2: 公的介護制度や地域包括センター等の知識がない人が多い

課題3: 自社の介護制度の周知が出来ていない

課題4: 地方出身者が多いことから、仕事と介護の両立が難しいと感じている社員が多い

以上